

- (四)帝國主義反對、社會正義樹立に關する決議
 (提案者、錫蘭、カナガス・ングラム、賛成者、日本、菊川忠雄)
- (五)軍隊及警官の勞働爭議干渉に反對する決議
 (提案者、印度、メータ、賛成者、錫蘭、グスマナイカ)
- (六)國際勞働總會に對する殖民地、屬領の利益に關する決議並びに三部制委員會と理事會に對する亞細亞諸國の要望に關する件。
- (提案者、印度、エヌ・エム・ジョーシ、賛成者、日本鈴木悅次郎)
- (七)産業新興國と一週四十時間問題に關する決議。
 (提案者、印度、エヌ・エム・ジョーシ、賛成者、日本、鈴木倉吉)
- (八)亞細亞各國に於ける勞働團體の大會に他國の友誼代表を招待する事に關する決議(議長提案)
- (九)國際勞働組合聯合との協力に關する決議(議長提案)
- 「本會議は、共通の利益を有する問題については I.F.T.U (國際勞働組合聯合) と全面的協力を希望する事を決議す。
- (十)次回大會に關する決議。
 (提案者、印度、エヌ・エム・ジョーシ、賛成者、印度、エス・シー・ジョーシ)
- 「本會議は、次回の亞細亞勞働會議を印度に開く事を決議す。」
- (十一)議長グーネンハ氏に對する感謝に關する決議。

(提案者、印度、メータ、賛成者、日本、菊川忠雄)

第三の問題である役員の選定については、滿場一致左の如く決定した。

議長 一名——日本、(勞働大會に於て決定すべく豫め日本勞働組合會議例に於てその候補者を任命して居らなかつたので後日に保留した。)(注)

副議長三名——印度、錫蘭、支那三ヶ國より各一名(其國の勞働團體の全國的中心によつて任命される)。

主事二名——内一名は日本勞働組合會議によつて任命される。他の一名は直ちに亞細亞勞働會議の仕事をする必要がある。

注) 迎会を遂は 關係上、バックール氏が任命された。

注) 迎会を遂は

過去二ヶ年に亘る日本商品の海外進出は、極度に世界の視聽を集め、歐洲諸國は之が對策として關稅障壁、經濟プロテク等を中心の日貨排斥が流行し、其のために日印會商、日蘭會商が試みらるゝに至つた。

而して日本の海外市場の侵略の原因は、過度に低廉なる賃金と劣悪なる勞働條件に基因する「ソシアル・ダンピング」の一形態たりとの聲が喧傳せらるゝに至つた。殊に今夏ゼネバに開催の第十八回勞働總會に於て世界各國は、議題の形に於てか局長報告の討議に於てか、何等かの方式に於て之を問題として論議せんとする魂膽を有すとの説が傳へらるゝに至つた。

我が組合會議は慎重に此の問題を考慮し、書記局は「日本商品の不正競争問題に關する考察資料」を發表し、續いて「海外市場に於ける日本商品の競争問題に對する善等の態度」を發表して其の態度を明にした。而して四月十八日開催の第四回執行委員會に於て、此の問題に對する對策として、